

令和3年度
郡山市障がい者自立支援協議会
「子ども支援部会」研修会

発達障害があるお子さんへの支援

～発達アセスメントを支援に活かす～

福島県総合療育センター（発達障がい者支援センター）
心理判定員 井上 宏仁

福島県発達障がい者支援センター

- 総合療育センター南棟2階（H18.10.31に開所）
- 「発達障害者支援法」に基づく支援機関。
県内では、当センター1か所のみ。
- 職員（令和3年4月1日現在）10名
センター長（精神科医師）
医師（精神科） 1名 就労支援 1名（非常勤）
相談支援兼発達支援3名 心理嘱託員4名（非常勤）

支援対象

- 支援対象者
 - ①発達障がいやその疑いのある本人やその家族
 - ②発達障がいに関わる関係機関
- 年齢制限はありません（0歳～成人まで）

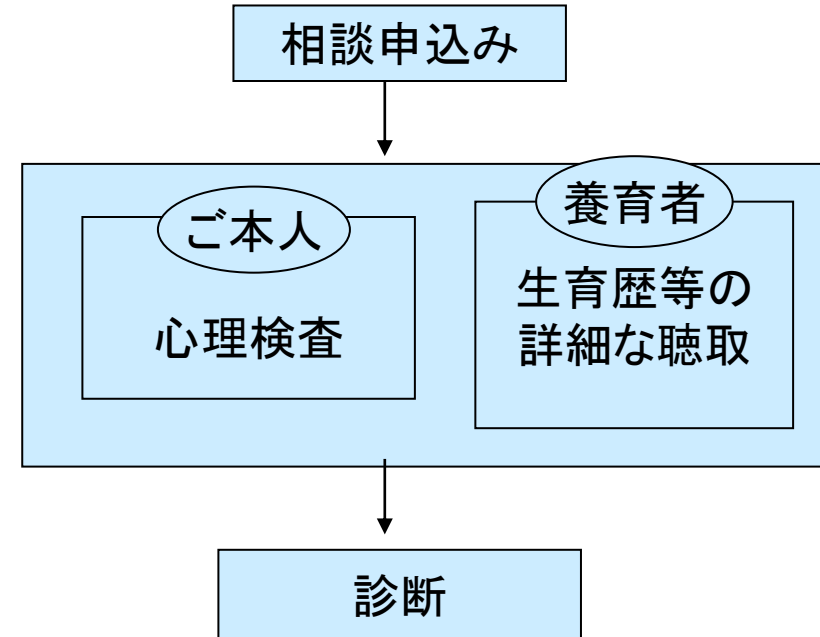
主な業務内容



- **相談支援**：相談に対する助言、福祉サービスの情報提供等。
- **発達支援**：発達の状態について、心理検査等による評価を行い、ご本人やご家族、関係機関に対して助言。医師による医学的診断も行います。
- **就労支援**：発達障がい者の就労に関する相談、労働関係機関との連携。
- **普及啓発及び研修**：発達障がいについての正しい情報や社会的支援の必要性について等の普及・啓発、関係機関の職員を対象とした研修など。

来所相談（発達支援）の流れ

- 医学的な診断や心理検査による評価は、未診断・未治療の方が対象です。
- 事前の予約が必要です。
- 生育歴の聴取ができる方の同伴をお願いしています。
- 診断後は、療育センター外来（心の発達相談室）や地域の支援機関と連携を取りながら支援します。



来所相談以外の業務

- 家族のためのワークショップ事業

講義 ①発達障がいの理解と支援について

②サポートブックについて

グループワーク

福島県自閉症協会の協力を得て、保護者同士の交流や情報交換の場を提供。

- 支援機関に対する訪問相談支援事業

環境設定をテーマとした機関コンサルテーションを実施。現場で支援を行うことにより、地域の支援力を高めるのがねらい。

対象：幼稚園、保育所、児童クラブ

来所相談以外の業務

- 発達障がい専門療育力向上事業（事例検討会）

発達障がい児・者の支援機関（障害児通所支援事業所等）を対象に事例検討研修会を行い、専門家からの助言を得る。

地域の専門支援技術の向上と情報交換の場を提供するのがねらい。

- ペアレント・トレーニング

発達障がいのある子どもたちの特性に合わせた関わり方を学ぶことができ、講義だけでなく少人数のグループワークや、家庭での実践を通して学べるプログラム。

来所相談以外の業務

- 新規障害児通所支援事業所等訪問

新規に開設した障害児通所支援事業所等を、児童家庭課、発達障がい地域支援マネージャー等とともに訪問。

事業所等が運営や療育等に関して相談できるネットワークの形成や、療育についての情報交換を行い、障がい児通所支援の質の向上を図る。

- 研修会への講師派遣等

普及啓発の一環として、外部機関が行う発達障がい関連の研修会へ講師として職員を派遣。

来所相談以外の業務

- 【被災関連事業】

被災した障がい児に対する医療支援事業

東日本大震災により被災した障がい児に対し、児童精神科医が医療支援を行う。

本日の内容

- 発達障がいについて
- 発達障がい支援のポイント
- 発達アセスメントを支援に活かす方法



発達障がいについて

発達障がいとは「脳のタイプ」

- 特有の発達の偏りを示す「脳のタイプ」
- 育て方やしつけの仕方が原因ではない
- 文部科学省の調査によると、発達障がいの可能性がある児童・生徒は6.5%と多い
- 発達障がいと思われる偉人も多数
トーマス・エジソン、アインシュタイン、モーツァルト...



主な発達障害

自閉スペクトラム症
(ASD)



注意欠如・
多動症
(ADHD)

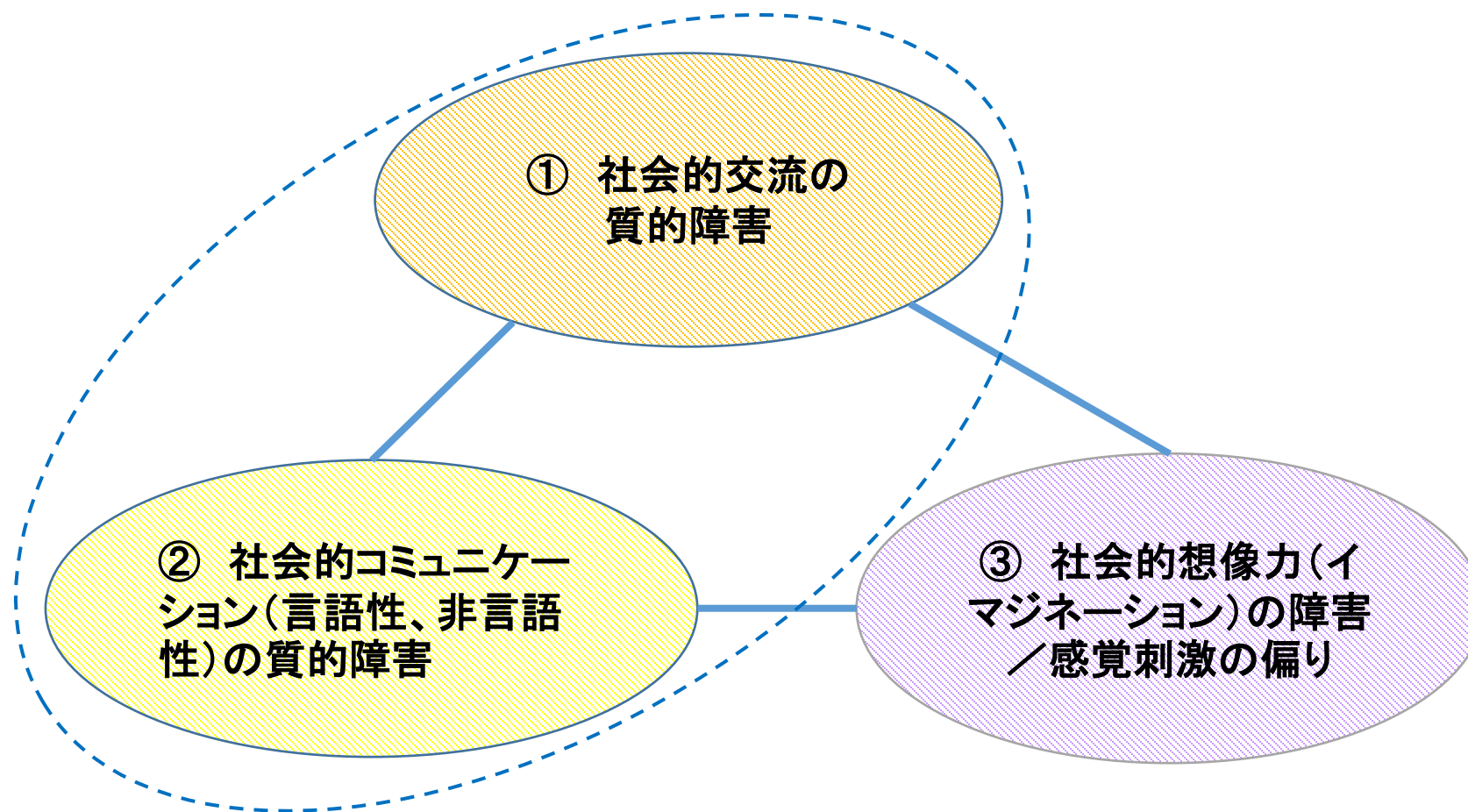


限局性学習症
(SLD)



※知的能力障害、発達性協調運動症、トゥレット症なども発達障害に含まれます。
(DSM-5)

自閉スペクトラム症 (ASD) の “3つ組”の特徴



自閉症スペクトラム (ASD)

自閉症、高機能自閉症、アスペルガー症候群などをまとめて、一つの集合体として考えるようになった。「スペクトラム」とは連続体のこと。

■ 对人的相互反応における特徴

- 相手との距離感が独特 (受動 / 積極奇異 / 孤立)
- 楽しみや興味を他の人と共有することが少ない
- 相手に行動を合わせる感覚が薄い。マイペース
- 相手の気持ちを直感的に想像することが苦手
- 暗黙の了解に気づきにくい

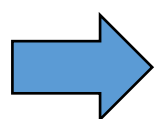
周りに左右されない

はっきり見聞きした情報を基に行動するタイプ

自閉症スペクトラム (ASD)

■ 社会的コミュニケーションの特徴 (理解・表出 / 言語・非言語)

- 独特の言葉遣い
- 言外の意味が分かりにくい
- 説明する、助けを求めることが苦手
- 言葉のキャッチボールが苦手
- 表情やジェスチャーの理解・表出が苦手



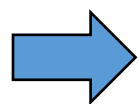
言葉を正確に使う

はっきり言われれば分かる＝明確さを好む

自閉症スペクトラム(ASD)

■社会的イマジネーションの特徴

- 新しいこと、場所、人に抵抗がある
- 自分のやり方や手順を変えられない、自分の思い通りでないことを受け入れるのが苦手
- プランニング、段取りが苦手
- 興味の範囲が狭い
- 秩序だったことを好む

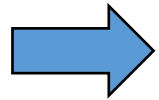


自分のやり方、ペースを大事にする
特定のことに強い力を発揮する

自閉症スペクトラム(ASD)

■感覚の特徴(敏感もしくは鈍感)

- 視覚、聴覚、触覚、嗅覚、味覚、温痛覚、体内感覚に、様々な程度に敏感さと鈍感さがある



とても繊細な感覚を持つ

これがあると落ち着ける！という物がある

「スペクトラム」という考え方

- スペクトラム＝多様に見えるものの、同じ仲間とみなせる集合体



- 発達障がいと定型発達の間には明確な境界線を引くことはできない。
- 診断はなくても、発達障がいの特性を持つ人もいる。生活面で支障が出てきたり、本人が苦しむ時にはサポートを受けた方が生活しやすくなる。

他にも

- 体の動かし方がぎこちない
- 睡眠の問題がある



注意欠如多動症 (ADHD)

■多動性

- 落ち着きがない ・話し過ぎる
- じっくり集中して取り組むことが苦手

■衝動性

- 思いついたら行動してしまう、順番が待てない
感情のコントロール不良

■不注意

- 気が散りやすい
- 忘れ物が多い、約束を忘れる ・過集中

ADHDの3つのタイプ

- ①多動・衝動性優勢型： 落ち着きがない、多弁、カッとしやすい、順番を待てない、乱暴な子とみられやすい など
- ②不注意優勢型： ボーッとしている、話を聞き逃す、忘れ物・なくし物が多い、ケアレスミスが多い など
- ③混合型： 多動・衝動性・不注意の症状を併せ持つ

* 多動・衝動性は年齢が上がるほど落ち着くことが多いが、不注意症状は成人後も見られることが多い。

* 服薬によって症状が落ち着く場合もある。

限局性学習症 (SLD)

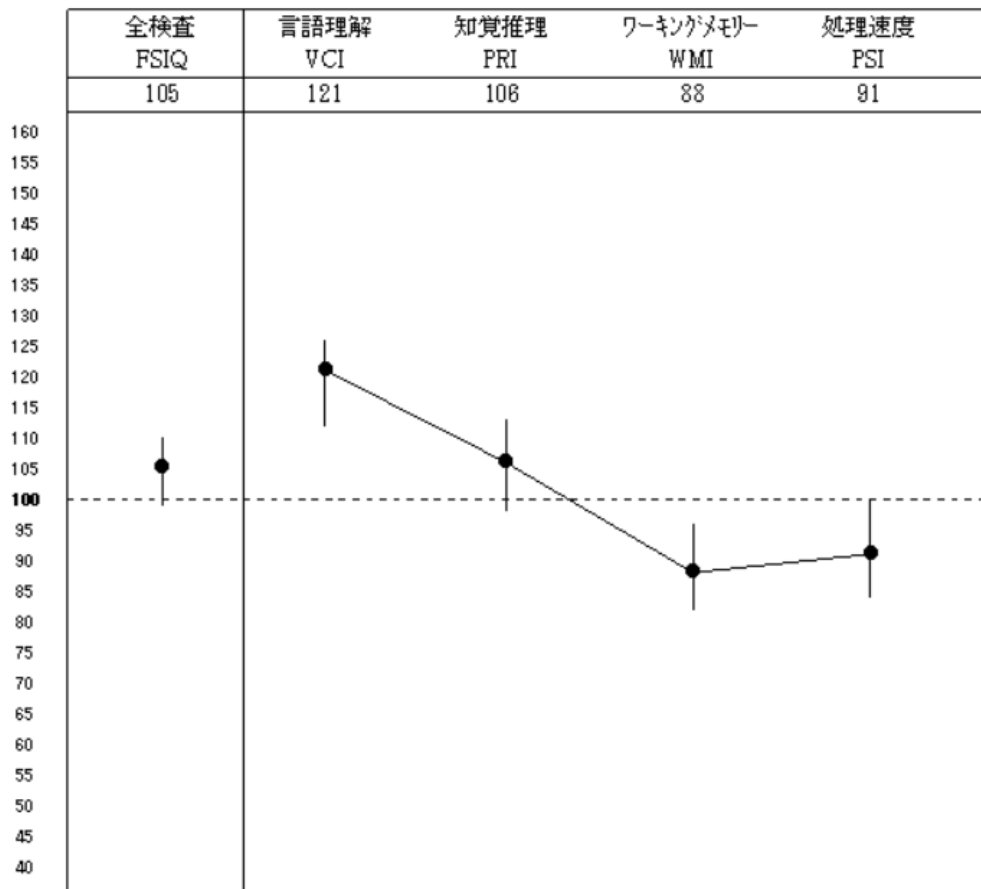
全体的な知的水準に遅れはないが、その水準に比べて

- 字を書くことに困難さがある
- 字を読むことに困難さがある
- 数の認識や計算が苦手

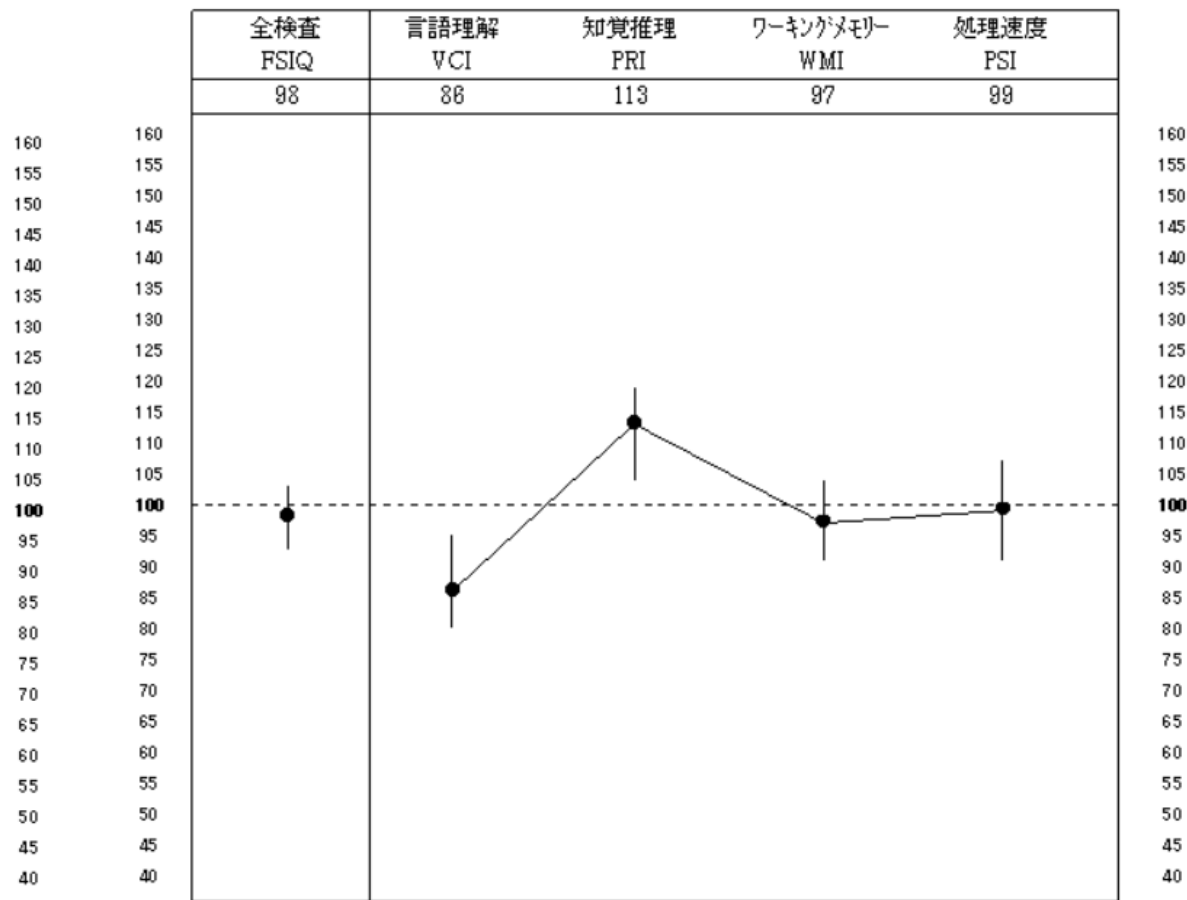
子どもの状態像はさまざま

※ASD診断を受けた児童のWISC-IVプロフィール例(一部改変)

合成得点プロフィール



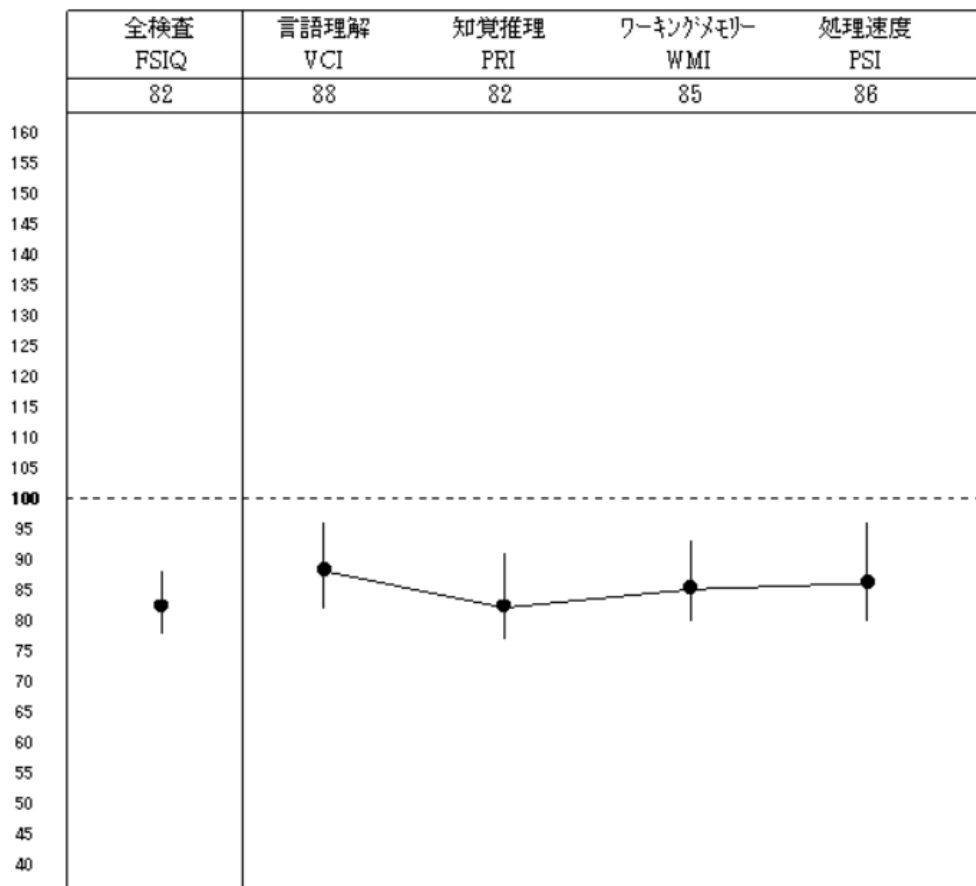
合成得点プロフィール



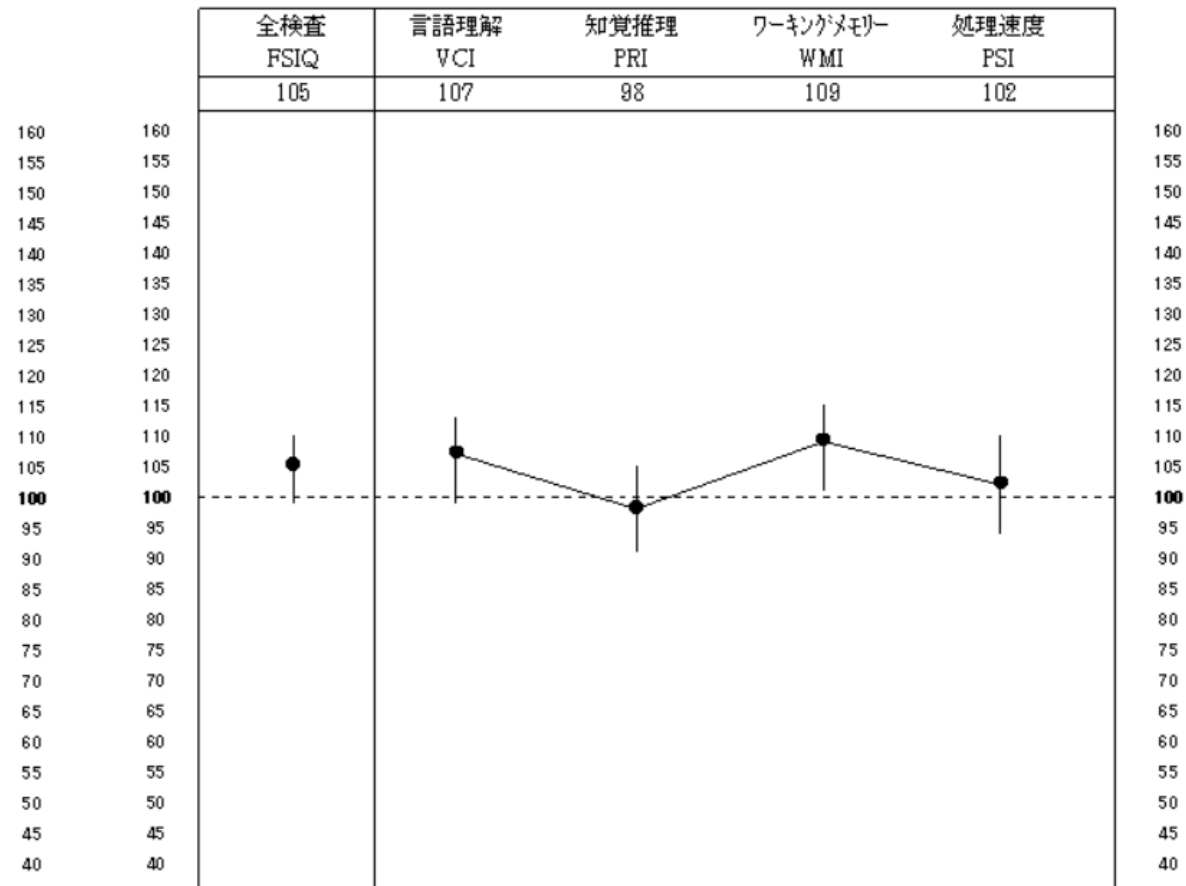
子どもの状態像はさまざま

※ASD診断を受けた児童のWISC-IVプロフィール例(一部改変)

合成得点プロフィール



合成得点プロフィール



子どもの状態像はさまざま

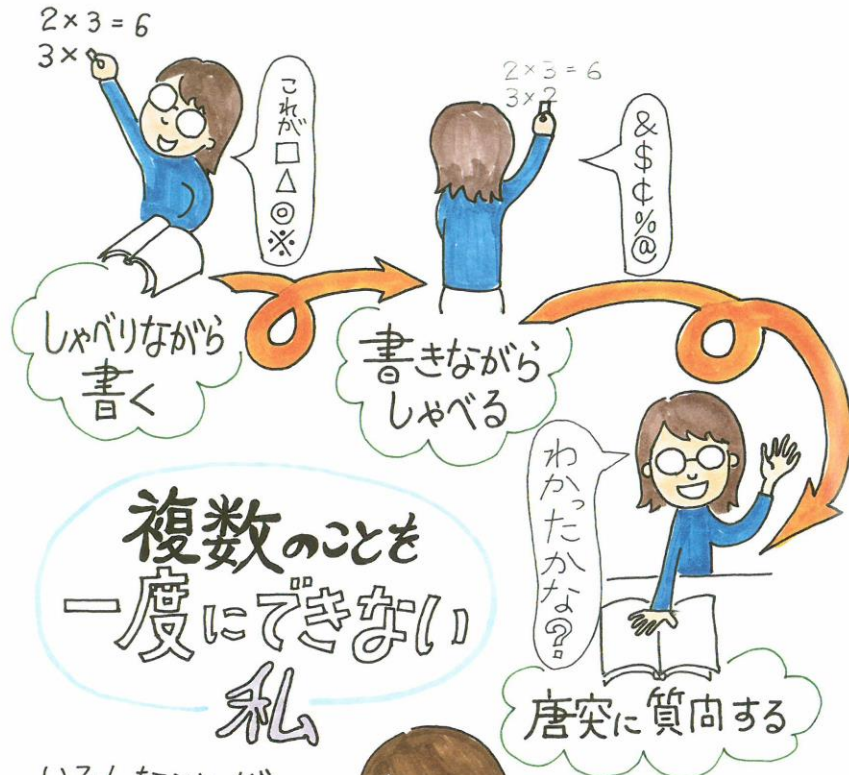
同じ診断名でも・・・

- ・勉強が得意な子－勉強が苦手な子
- ・多動な子－おとなしい子
- ・器用な子－不器用な子
- ・よくおしゃべりする子－話さない子

→ひとりひとりの発達特性、理解の仕方(学習スタイル)を知る

→ひとりひとりに合わせた支援を考える

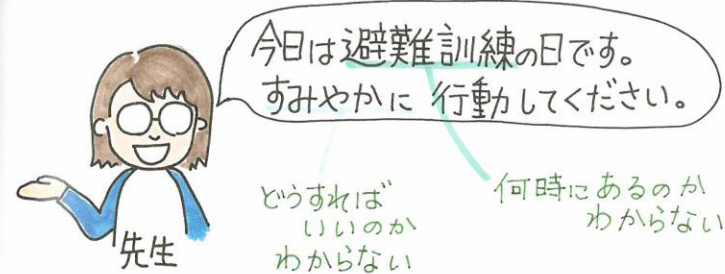
先生は大忙し



いろんなことが
視覚的に
忙しすぎて



席に着いているのが 精一杯



何が起るか
わからない

注意アンテナ万全
朝から超緊張状態



できれば
避難訓練の訓練をしたいくらい

口頭での説明は消えてしまう
頭の引き出しに入れようがない

一方、視覚にうつたえるものなら
簡単に脳に保管できる



発達障がい支援のポイント

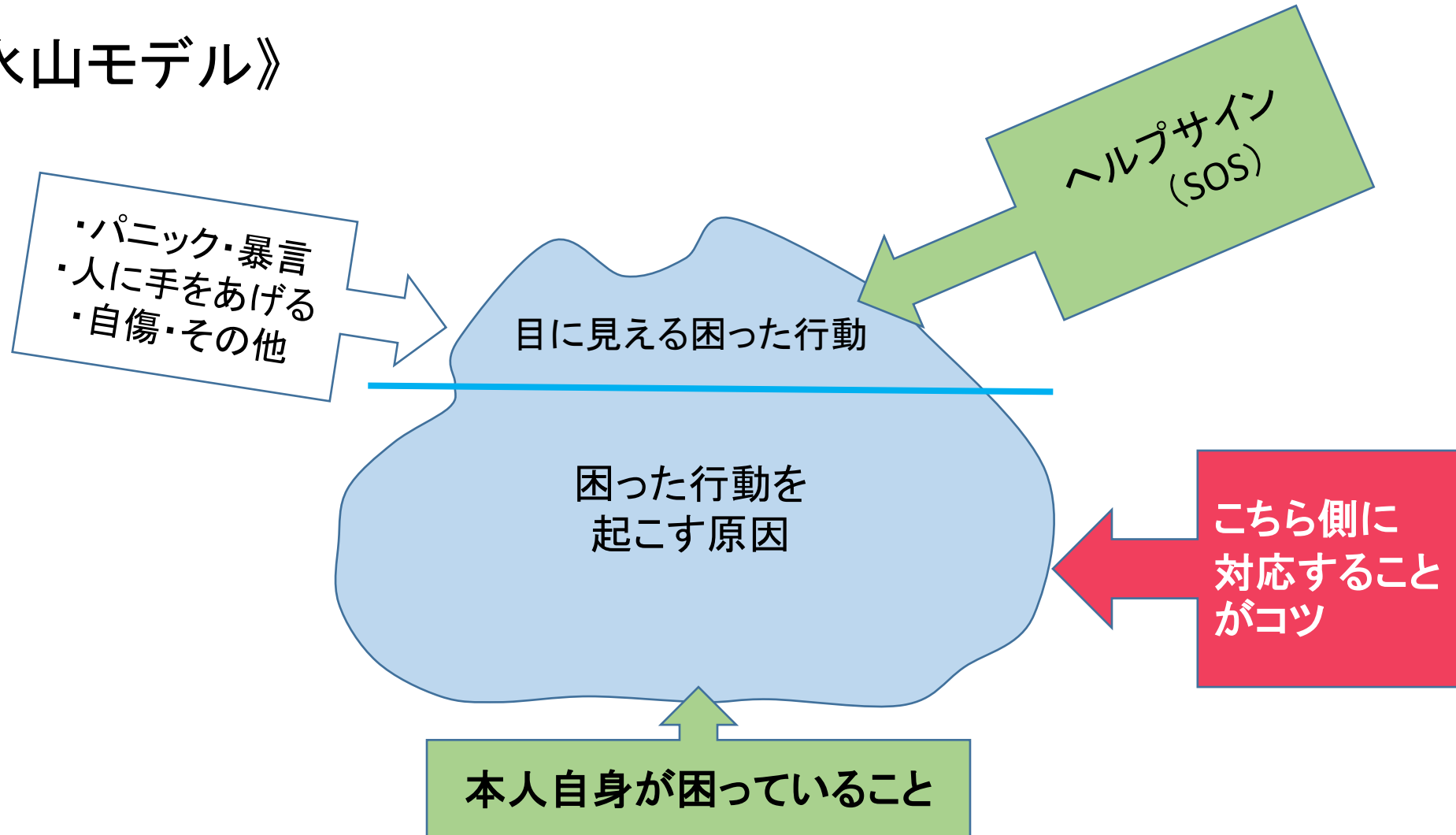
ご本人の特性を知る～支援方法を考える時のヒント～

特性(弱みになりやすいところ)	強み
<ul style="list-style-type: none"> ・相手の意図や気持ちが分かりにくい 	<ul style="list-style-type: none"> ・明確に言われたことは理解しやすい
<ul style="list-style-type: none"> ・耳で聞いて理解することが苦手 	<ul style="list-style-type: none"> ・目で見ただけで理解することは得意
<ul style="list-style-type: none"> ・抽象的、曖昧なことを理解するのが苦手 	<ul style="list-style-type: none"> ・具体的、明確なことを好む
<ul style="list-style-type: none"> ・別の方法、やり方を考えるのが苦手 ＝経験していないこと、いつもと違うこと、急な変更を受け入れるのが苦手 	<ul style="list-style-type: none"> ・別なやり方、見通しを伝えられれば分かる ＝経験したこと、予測がつくことには安心して取り組める
<ul style="list-style-type: none"> ・同時に複数のことをするのが苦手 	<ul style="list-style-type: none"> ・一つのことに強い集中力を発揮する
<ul style="list-style-type: none"> ・全体を捉えることは苦手 	<ul style="list-style-type: none"> ・細部に注目することができる
<ul style="list-style-type: none"> ・物事を順序立てて考えることが苦手 	<ul style="list-style-type: none"> ・手順や選択肢が示されれば判断できる。
<ul style="list-style-type: none"> ・興味の持てないことにはなかなか取り組めない 	<ul style="list-style-type: none"> ・興味・感心があることには集中力や記憶力を発揮する
<ul style="list-style-type: none"> ・じっとしているのが苦手 	<ul style="list-style-type: none"> ・エネルギーが豊富
<ul style="list-style-type: none"> ・手先が不器用 	<ul style="list-style-type: none"> ・便利な道具を使えばなんとかなる(こともある)
<ul style="list-style-type: none"> ・感覚が敏感だったり鈍感だったりする 	<ul style="list-style-type: none"> ・感覚が繊細だったり、好みの感覚刺激がある



困った行動が起こったら・・・

《冰山モデル》



ヘルプサインは子どもからのメッセージ

- ・困ったときに表現される行動(ヘルプサイン)
- ・困っているのはご本人(⇔表面的には困らせる側)
- ・段階的に表れる事が多い
 - 小さな問題のうちに、早めに対応する

二次障害

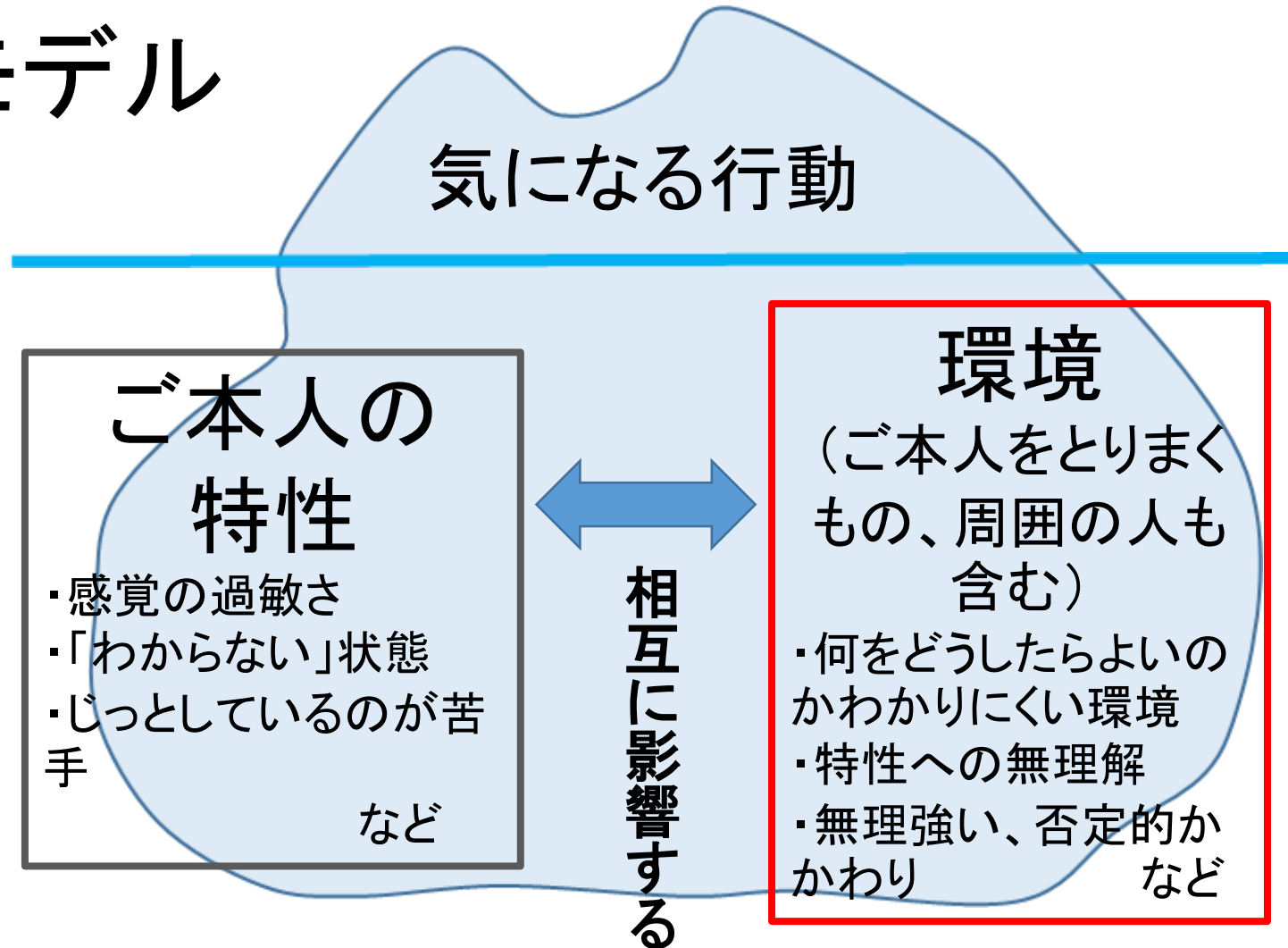
- ・その人に本来なかった障害のこと
周囲の誤解と無理解の対応によって発生する障害
例) 激しいかんしゃく、激しいこだわり、ひどい自傷、
暴言暴力、指示待ち、睡眠の大きな乱れ、食事
の問題、排泄の問題、パニック など
- ・二次障害は、小さなヘルプサインを無視され続けた結果に起こる。

行動の背景は様々考えられる

先生の指示に従わない

- ・言われたことを覚えてもらえない（聴覚的ワーキングメモリーが弱い）
- ・言われている内容が理解できない
（文脈が理解できない＝中枢性統合の弱さ、理解力が低い）
- ・他の物に気を取られ、指示に気づかない（視覚、注意の向け方）
- ・前の時間にあった嫌なことが気になり、集中できない（注意の切り換えが苦手）
- ・聞きそびれたが質問できない（対人、コミュニケーション）
- ・周りの音が気になって聞き取れない（感覚）

氷山モデル



環境は変えることができる

有効な支援とは

①支援は**環境調整（環境づくり）**から

- ・見てわかりやすく
- ・ご本人の理解に合わせて設定する

②わかりやすい伝え方、かかわりの工夫

- ・言葉＋ α （実物、写真、絵など）
- ・具体的に、肯定的に伝える

わかりやすい環境を準備する

- わかりやすい環境＝自立するための支援
 - …いつ、どこで、何を、どのように行うのかが自分でわかって行動できる
- 見て分かりやすい環境を用意する
 - ①場所(どこですか、どこにいるか、どこに置くか…)
 - ②時間(スケジュール)
 - ③活動内容(見てわかりやすく説明する、手順書など)

①場所を分かりやすく

- ・場所と空間を整理して、その場所に行けば活動が何であるかということが見ただけで分かるようにする。
- ・家具などの配置を工夫する。
- ・環境の刺激の量のコントロール
 - A. 明確な物理的、視覚的な境界を設定する
 - B. 活動と場所の1対1対応
 - C. 不必要な刺激の整理
 - D. 家具のサイズ・導線・ものの取りやすさなど

場所と活動を1対1で対応させて



マットを敷いてわかりやすく



物の場所もわかりやすく



お手洗いのスリッパ



②時間を分かりやすく

- ・どんな活動があるのか、その流れがどうなっているのかを視覚的に(見て分かる形で)伝える。
- ・見通しを示すことで、不安を軽減する。
- ・「変化」を理解することを助ける。
- ・予定を伝える材料
 - 具体物、写真、絵カード、文字絵カード、文字
- ・提示する長さ
 - 次の活動だけ、2～3活動、半日、1日など

時間をわかりやすく
～スケジュール(全体)～



絵カードを使って (個別式スケジュール)







月間スケジュール

～お子さんの理解とニーズに合わせて～

8がつ

日	月	火	水	木	金	土
	1  いえ	2  いえ	3  ひまわりえん	4  いえ	5  いえ	6
7	8  いえ	9  いえ	10  ひまわりえん	11	12  いえ	13
14	15  いえ	16  いえ	17  ひまわりえん	18  いえ	19  いえ	20
21	22  いえ	23  いえ	24  ようちえん	25  ようちえん	26  ようちえん	27
28	29  ようちえん	30  ようちえん	31  ようちえん			

チェック式で

くるまにのる 	
としょかんにつく	
ほんをみる 	
おやつをたべる 	
くるまにのる 	
えんにつく 	
さようなら 	

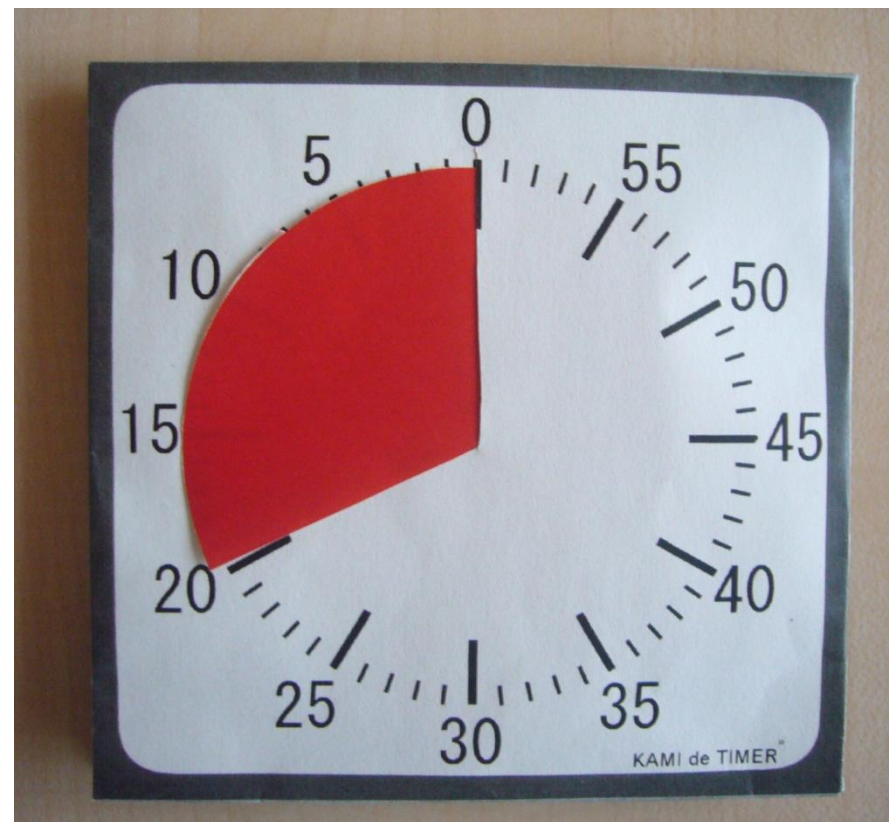
なまえ	
	てあらい
	きがえ
	しゅくだい
	おやつ
	あそび
	かたづけ
	ごはん

行事の例

運動会(保育園児)



残り時間を分かりやすく



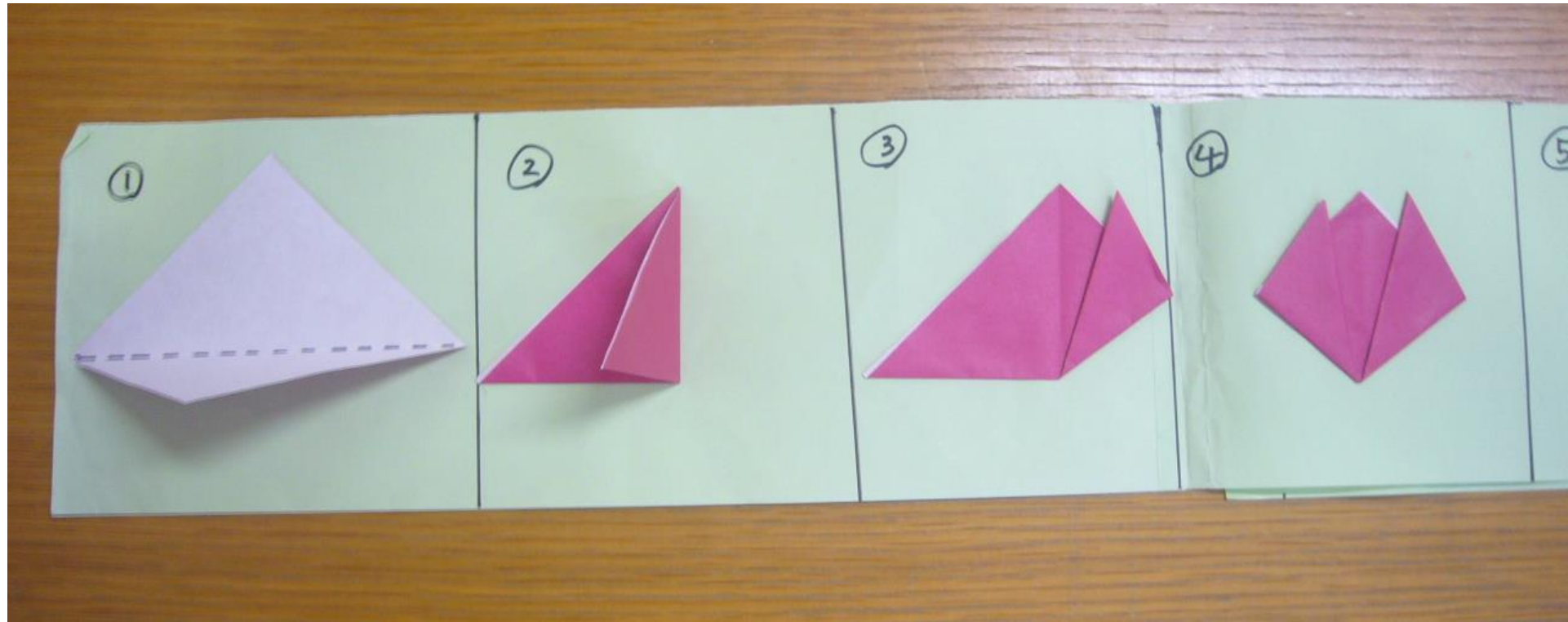
③活動を分かりやすく

- ・スケジュールで示されている一つ一つの活動の内容と、始めと終わりの見通しを伝える。
- ・大切な4つの情報
 - 1, 何をするのか
 - 2, どれだけの量をするのか
 - 3, いつ終わるのか
 - 4, 終わったら、次に何をするのか

手順書(トイレ、手洗い)



手順書(製作)



手順書（健診、予防接種）



しりょくけんさ
視力検査
(なにがみえるかけんさします)

1		あしがたにのります
2		みぎのめで、そくていきをみます
3		せんせいのしつもんこたえます
4		ひだりのめで、そくていきをみます
5		せんせいのしつもんこたえます

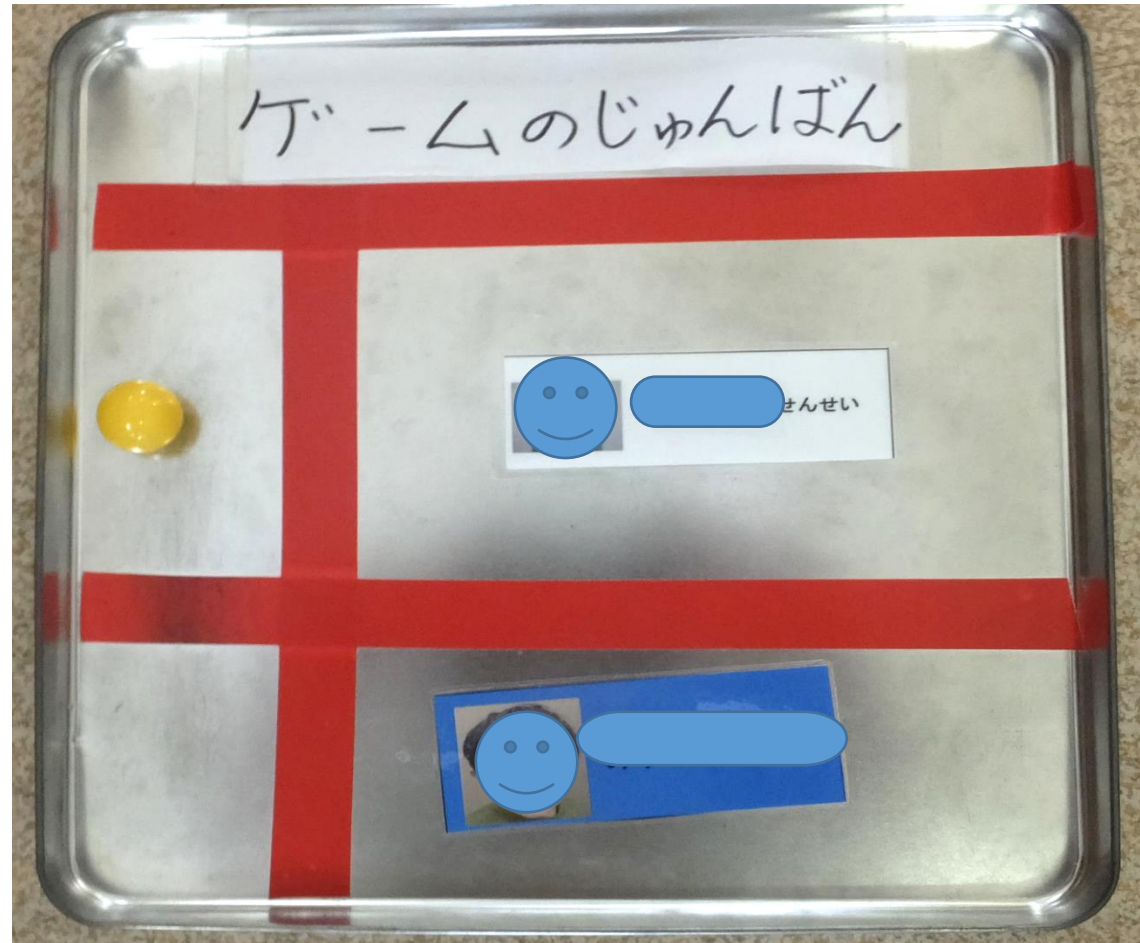


よっせっしゅ
予防接種
(ちゅうしゃをします)

1		うでをだします
2		しょうどくをします
3		ちゅうしゃをします 「1、2、3、4、5」とかぞえます
4		ちがとまるまで、おさえます

見てわかりやすい工夫1

順番をわかりやすく



見てわかりやすい工夫2

好きな遊びを自分で
選ぶことが難しいお子
さんに・・・



「見えなくする」ことも大切な支援



使わない時は目隠し

見てわかる支援は、みんなにわかりやすい

日常生活の中にあるもの

例) 駅の中の路線の表示、案内標識

ATMの前にある並ぶ場所の表示

病院の診療科の案内

駐車場の枠線

etc

発達障害(ASDなど)の人だけでなく、すべての人に有効なアイディアです。

感覚面の配慮

- 嫌な感覚には、無理に慣れさせようとしない

⇒環境調整で対応

例) 直射日光が苦手・・・廊下側の席にする、カーテンの活用

例) 運動会のピストルの音が苦手・・・笛で対応

例) おかずの味が混ざるのが苦手・・・1品1皿で対応

- グッズの活用・・・イヤーマフなど
- 好きな感覚は、リラックスグッズとして活用



リラックスできるスペース



自尊心を育むかかわりの工夫

- 「できた！」「わかった！」という経験
(→自信をつける、安心して取り組める)
- 「誰かに伝えたらいいことがあった！」という経験
(→相談スキル)
- 「苦手なこともあるけれど、得意なことやできることがある！」と思える
(→自分を知る)



自分で理解して行動できることが自信につながります

ふくしまサポートブックについて



福島県発達障がい者支援センター

ふくしまサポートブックとは？

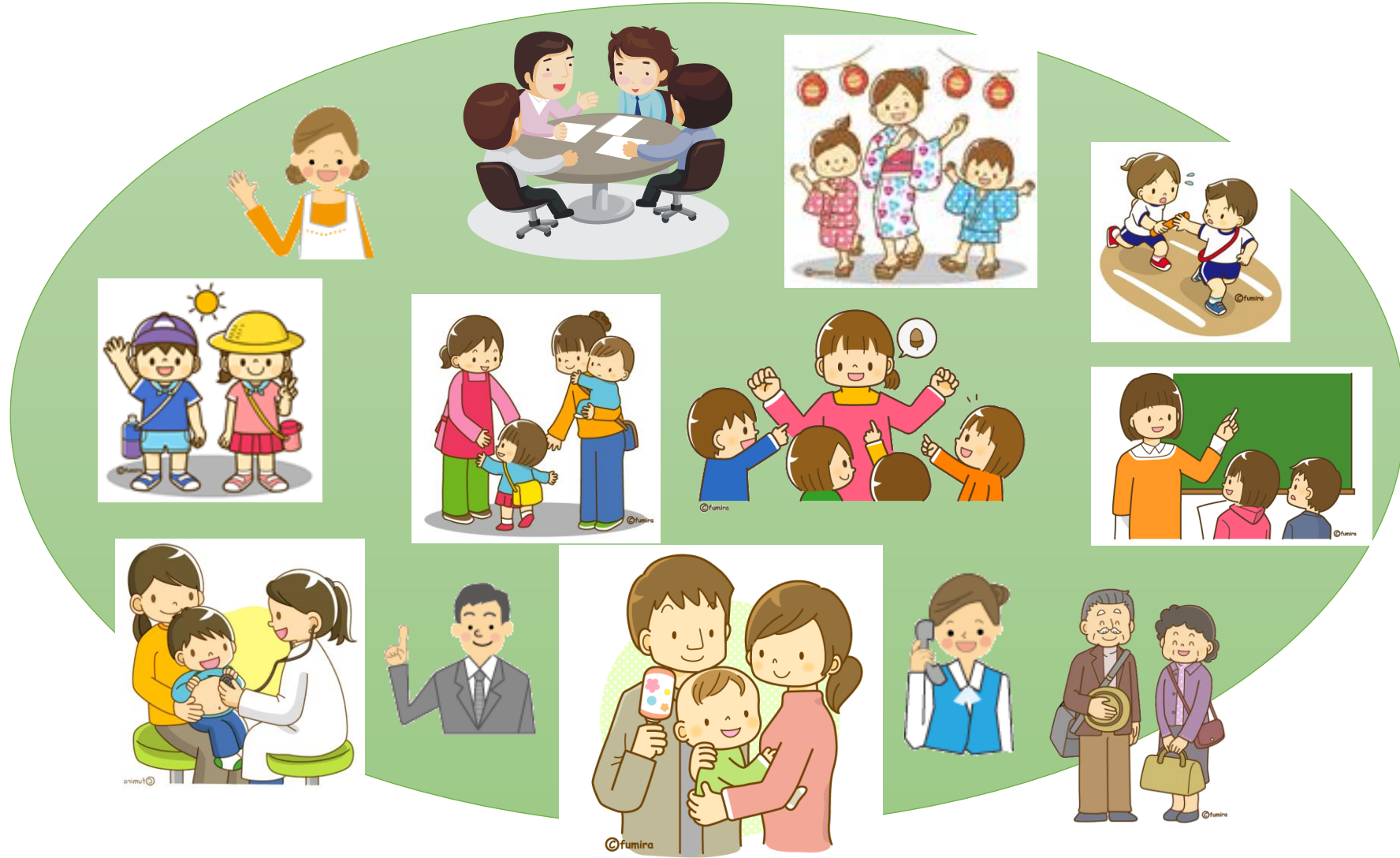
サポートブックは、
障がいのある方が、
いつでも誰からでも同じ支援を受け、
安心して社会生活を送るための、
支援ツールです。

子どもが育ってくるときに



親として心配なことがたくさんあります

子どもが育ってくるときに



たくさんの方が関わります

サポートブックはなぜ必要？

持っている特徴は、一人ひとり違います。

例えば、同じ「自閉スペクトラム症」の診断を受けているお子さんでも…

- エアコンの音が嫌で逃げ出す子もいれば
 ⇔大きな音が鳴っても気にしない子もいます
- 砂遊びが大好きで止められない子もいれば
 ⇔砂を触るのを嫌がる子もいます

安心して生活できるためには、一人ひとりの持っている特徴と、支援のポイントを伝え、理解してもらうことが必要なのです。

サポートブックでどんなことを伝える？

- 得意なこと、好きなこと
- 苦手なこと、嫌いなこと
- 今できていること、どこまでだったら自分でできるか、自分では難しいこと
- 苦手さに対して、どういう配慮や支援があればうまくできるか
- どうすればご本人が理解しやすいか

これらを伝えることが大切です。

誰に伝える？

- 子どもとたくさん時間を過ごす人に
保育所、幼稚園、学校、児童クラブ、障害児
通所支援事業所 etc.
- 時々、一緒に過ごす人に
実習先、ショートステイ先、受診先、ボラン
ティア etc.
- おとなになってからも支援する人に
相談支援、就労支援、生活の場の支援 etc.

ご本人が育つときに関わる人たちに伝えます。

縦のつながりと横のつながり

○成長とともに→縦のつながり

ライフステージが変わるとき、新しい支援を受けるときなど、それまでの歴史と大事な情報をつなぐことが必要です。

○今を支える→横のつながり

今必要な支援が、どこでも誰とでもつながっていることが大切です。

つなぐツールとしてサポートブックがあります。

つながりの中心にあるのは、ご本人と家族です。

ご本人と家族を尊重する考えでつながっていきます。

ご本人の成長、変化とともに、書き替えていくことが大切です。

ふくしまサポートブック

以下の5部で構成されています。

○緑色の「プロフィール」について記入するページ

○ピンク色の「サポート」について記入するページ


○「避難所等での発達障がい児者への配慮について」

○発達障がいの説明としての「発達障害の理解のために」
(厚生労働省発行)

○コミュニケーション支援のための「コミュニケーション支援ボード」

「プロフィール」のページ

1. プロフィール

ふりがな			顔写真 
氏名			
生年月日	年 月 日	生 歳	
性別	血液型		
身長	cm	体重	kg
所属(学校)			
障がい名			
所有手帳	<input type="checkbox"/> 療育手帳(A・B) <input type="checkbox"/> 精神保健福祉手帳 <input type="checkbox"/> 身体障害者手帳(級) <input type="checkbox"/> 手帳無し		
住所			
TEL	— —		
家族 (続柄)	()	()	()
	()	()	()
	()	()	()
	()	()	()

…縦のつながりのために

- 氏名や住所、連絡先などのほか、これまで受けてきた支援や治療の経過、現在の行動の特徴について書きます。

「サポート」のページ

3. 生活面のサポート

記入した項目をチェック してください。

- ① 遊び・趣味・好きなこと
- ② コミュニケーション
- ③ かんしゃく・パニック
- ④ トイレ
- ⑤ 外出・移動
- ⑥ 食事
- ⑦ 着替え・入浴
- ⑧ 起床・就寝・洗面・歯磨き
- ⑨ 通院
- ※上記のほか、項目があれば記載してください
-

…横のつながりのために

・好きなことやかんしゃくについてなど、関わる人に知ってもらいたいことを書きます。

・コミュニケーションや日常生活動作について、できることや苦手なこと、どんな支援があるとよいかなどを書きます。

*具体的に、誰にでもわかる言葉で伝えることが大切です。

②コミュニケーション

本人から相手に伝えるとき

主 手 手 段	<input type="checkbox"/> 言 葉 <input type="checkbox"/> 単語レベル <input type="checkbox"/> 音声のみ <input type="checkbox"/> 絵カード <input type="checkbox"/> その他（ ）
要 求 の と き	<ul style="list-style-type: none"> • 単語か簡単な二語文（〇〇ください）で要求（食事・余暇・帰省や通院に関する事等）を伝えることができます。 • 嫌なことはスタッフの名前を呼んで伝えてきます。
拒 否 の と き	<ul style="list-style-type: none"> • 「いやです」「やりません」ときっぱり自分の意思を伝えてきます。
その他 <small>本人が伝えたいが、伝わりにくいポイントなど</small>	<ul style="list-style-type: none"> • 数字や西暦、月日、ラジカセなどの型式ナンバー、アルファベット等で伝えたり、表現が独特で伝わりにくい時があります。

相手（支援者）から本人に伝えるとき

主 手 手 段	<input type="checkbox"/> 言 葉 <input type="checkbox"/> ジェスチャー <input type="checkbox"/> 絵カード（絵・写真） <input type="checkbox"/> 具体物 <input type="checkbox"/> その他（ ）
配 慮 す る ポ イ ン ト	<ul style="list-style-type: none"> • 日常的な簡単な言葉は理解できますが、スタッフが説明や指示をする際には、絵や写真、文字等の視覚的なものを利用した方が伝わりやすいです。文字は「カタカナ」といって求めることがあります。 • 表現が独特で伝わりにくいこともあってか、慣れたスタッフの名前を呼んで要求等を伝えてきます。

15-（ ）

③ かんしゃく・パニック

予 防 の 方 法

- 本児の前ではスタッフも大きな声を出さないようにしている。
- 苦手な児童との接触等の不快な刺激を受けないよう、周囲の環境や他児との関係等についてできるだけ配慮しています。
- 自らイヤーマフを装着し、不快な声や音を遮断しています。

原因として考えられること（きっかけ）

- 大声を出したり、しつこく関わってくる等の不快な行動を繰り返す児童が嫌い。
- 急なスケジュール等の変更を理解できない。
- 行動の修正や意に沿わないことを受け入れることが難しい。

表 現 ・ 行 動 （強さ、どのくらいの時間続くのかなど）

- 大声を出します。
- 苦手な児童の声が聞こえなくて、見えない場所まで走って逃げて離れて様子を見えています。
- 1～2回テーブルを叩くことが稀にあります。
- 自傷行為（自分の額を叩いたり爪立てする）が稀にあります。
- 他児やスタッフを叩いたりする他害は見られなくなりました。

対 応 方 法

- スケジュールの変更や初めての経験について、事前に絵や写真文字等の視覚的なものを掲示して伝えています。
- ことばではなく、文字等を提示して理解できるよう伝えています。
- 仕切りやカーテンを利用してできるだけ不快な刺激を受けないよう配慮しています。

避難所等での発達障がい児者への配慮について

下記の者は、平成28年4月18日付け厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部障害福祉課障害児・発達障害者支援室通知「地震により被災した発達障害児・者等への避難所等における支援について」及び平成28年4月22日付け厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部通知「避難所等で生活する障害児者への配慮事項等について」により、配慮等が必要な者に該当しますので、特段の御配慮をお願いします。

支援対象者 _____

診 断 名 _____

◎行動の特徴(該当項目にチェック)

- 思っていることが伝えられないなどコミュニケーションの困難さがある
- 集団行動がとりにくいなど対人関係の困難さがある
- 場の雰囲気を読めないなど想像することが苦手である
- 新規場面、人への不安が強い
- 物事に対するこだわりがあり、特定の興味に熱中する
- 特定のものに対する感覚の偏り（過敏、鈍麻）がある

「コミュニケーション支援ボード」 のページ



サポートブックの作成、使用にあたって

- ご本人またはご家族が記入、管理します。

記入にあたって、ご本人のことをよく理解してくださっている支援者にお手伝いいただくのもよいでしょう。

- バインダーやファイルにはさんでご使用いただくと便利です。

ご本人の成長や変化に合わせて、内容（ページ）を差し替えたり追加したりすることができます。

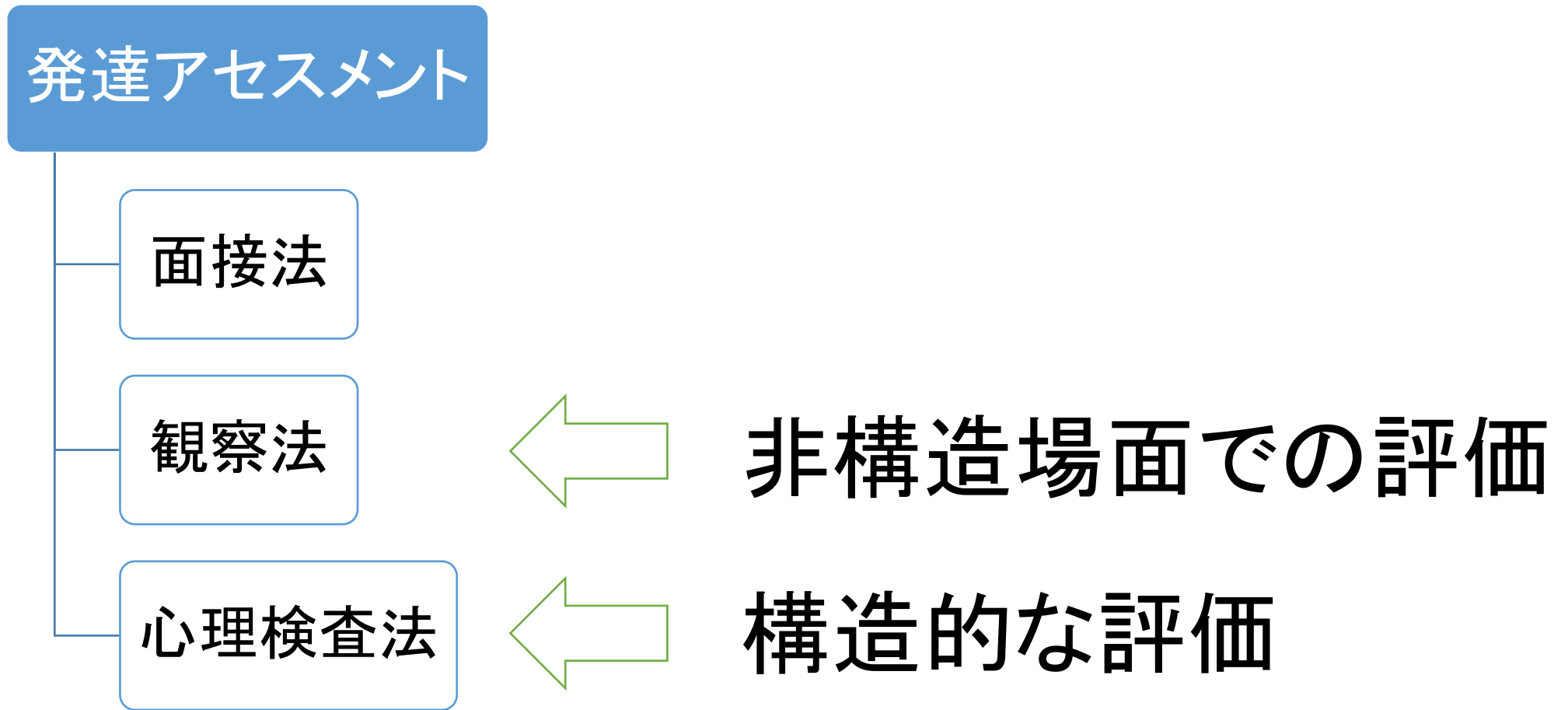
生活のいろいろな場面に携帯でき、必要なときに、必要なページを提示することができます。

- ふくしまサポートブックは、当センターのホームページよりダウンロードできます。

「プロフィール」と「サポート」のページはパソコン上（Word）での記入が可能です。

発達アセスメントを支援に活かす

情報収集の方法はさまざま



主訴の原因を探る

- ・仮説検証を繰り返す。
 - ・様々な原因(仮説)の想定＝視点を持てると、見落としが少なくなる。
- ※検査結果も仮説を立てるための材料の1つにすぎない。

落ち着きがない

- ・見通しが持てないことへの不安？
- ・指示内容が理解できない？
- ・感覚過敏(聴覚、触覚など)？
- ・何をしたらよいか分からない(実行機能)？
- ・ルールが理解できない？ …

文字が書けない

- ・図形の認知が不良？視覚的ワーキングメモリーが弱い？
- ・手先の細かい動きがスムーズでない？…

指示に応じられない

- ・指示内容が理解できない？聴覚的ワーキングメモリーが弱い？
- ・優先順位が分からない？…

検査結果から考える

- 主訴の原因(水面下の部分)に対し、どう対応するか
- 数値だけでなく、その意味や解釈を基に検討する
 - なぜその数値になったのか
 - 普段の様子との関連性



- **支援の基本は「得意(強み)」を活かして、苦手を補うこと**
- **そのための環境調整や工夫を考える**

心理検査の種類

〈目的〉 スクリーニング or 精査

〈形態〉 集団 or 個別、 実施 or 聴き取り

〈内容〉

- 発達検査（新版K式発達検査、遠城寺式など）
- 知能検査（田中ビネー、WISC-IVなど）
- 人格検査（Y-G検査、バウムテストなど）
- その他の検査

その他の検査

[適応行動に関するもの]

- S-M社会生活能力検査
- Vineland- II 適応行動尺度

これらは、知能発達の水準を測る検査とテストバッテリーを組むことが多い。

[発達障がいに関するもの]

- AQ日本語版(自閉症スペクトラム指数)
- PARS-TR(親面接式自閉スペクトラム症評価尺度テキスト改訂版)
- ADOS-2(自閉症診断観察検査 第2版)
- ADHD-RS
- STRAW(小学生の読み書きスクリーニング検査)

田中ビネー知能検査 V

- 適用年齢: 2歳 ~ 成人
- 生活年齢に応じて問題が配列。
- 各年齢級には、その年齢での通過率が55%~75%の課題が配置。
- IQ(Intelligence Quotient:知能指数)の算出

$$\frac{\text{MA(精神年齢)}}{\text{CA(生活年齢)}} \times 100$$



*合格問題の番号欄に○印をつける

番号	問題名	番号	
1歳級	1 チップ差し★11	6歳級	49 絵の
	2 犬さがし		50 曜E
	3 身体各部の指示(客体)		51 ひし
	4 語彙(物)★14		52 理の
	5 積木つみ		53 数の
	6 名称による物の指示★12		54 打差
	7 簡単な指図に従う★19	7歳級	55 関係
	8 3種の型のはめこみ		56 記憶
	9 用途による物の指示★21		57 共通
	10 語彙(絵)★24, 25, 37		58 数の
	11 チップ差し★1		59 頭文
	12 名称による物の指示★6		60 話の
2歳級	13 動物の見分け	8歳級	61 短文
	14 語彙(物)★4		62 語彙
	15 大きさの比較		63 数の
	16 2語文の復唱		64 短文
	17 色分け		65 垂直
	18 身体各部の指示(主体)		66 共通
	19 簡単な指図に従う★7	9歳級	67 絵の
	20 縦の線を引く		68 数の
	21 用途による物の指示★9		69 差身
	22 トンネル作り		70 図形
	23 絵の組み合わせ		71 話の
	24 語彙(絵)★10, 25, 37		72 単語
3歳級	25 語彙(絵)★10, 24, 37	10歳級	73 絵の
	26 小鳥の絵の完成		74 話の
	27 短文の復唱(A)		75 ボー
	28 属性による物の指示		76 数の

どちらも
同じ
IQ100

Aさん: 3歳10か月

Bさん: 3歳10か月

	番号	正誤		番号	正誤	
1 歳 級	1		3 歳 級	25	○	
	2			26	○	
	3			27	○	
	4			28	○	
	5			29	○	
	6			30	○	
	7			31	○	
	8			32	○	
	9			33	○	
	10			34	○	
	11			35	×	
	12			36	×	
2 歳 級	13	○	4 歳 級	37	×	
	14	○		38	×	
	15	○		39	×	
	16	○		40	×	
	17	○		41	×	
	18	○		42	×	
	2 歳 級	19	○	5 歳 級	43	
		20	○		44	
		21	○		45	
		22	○		46	
		23	○		47	
		24	○		48	

基底年齢
3才

← 上限年齢3才

基底年齢
2才

	番号	正誤		番号	正誤	
1 歳 級	1	○	3 歳 級	25	○	
	2	○		26	○	
	3	○		27	○	
	4	○		28	○	
	5	○		29	○	
	6	○		30	○	
	7	○		31	○	
	8	○		32	○	
	9	○		33	○	
	10	○		34	○	
	11	○		35	×	
	12	○		36	×	
2 歳 級	13	○	4 歳 級	37	×	
	14	×		38	○	
	15	○		39	×	
	16	○		40	×	
	17	○		41	○	
	18	×		42	×	
	2 歳 級	19	○	5 歳 級	43	×
		20	×		44	×
		21	○		45	○
		22	○		46	×
		23	○		47	×
		24	×		48	×

← 上限年齢5才

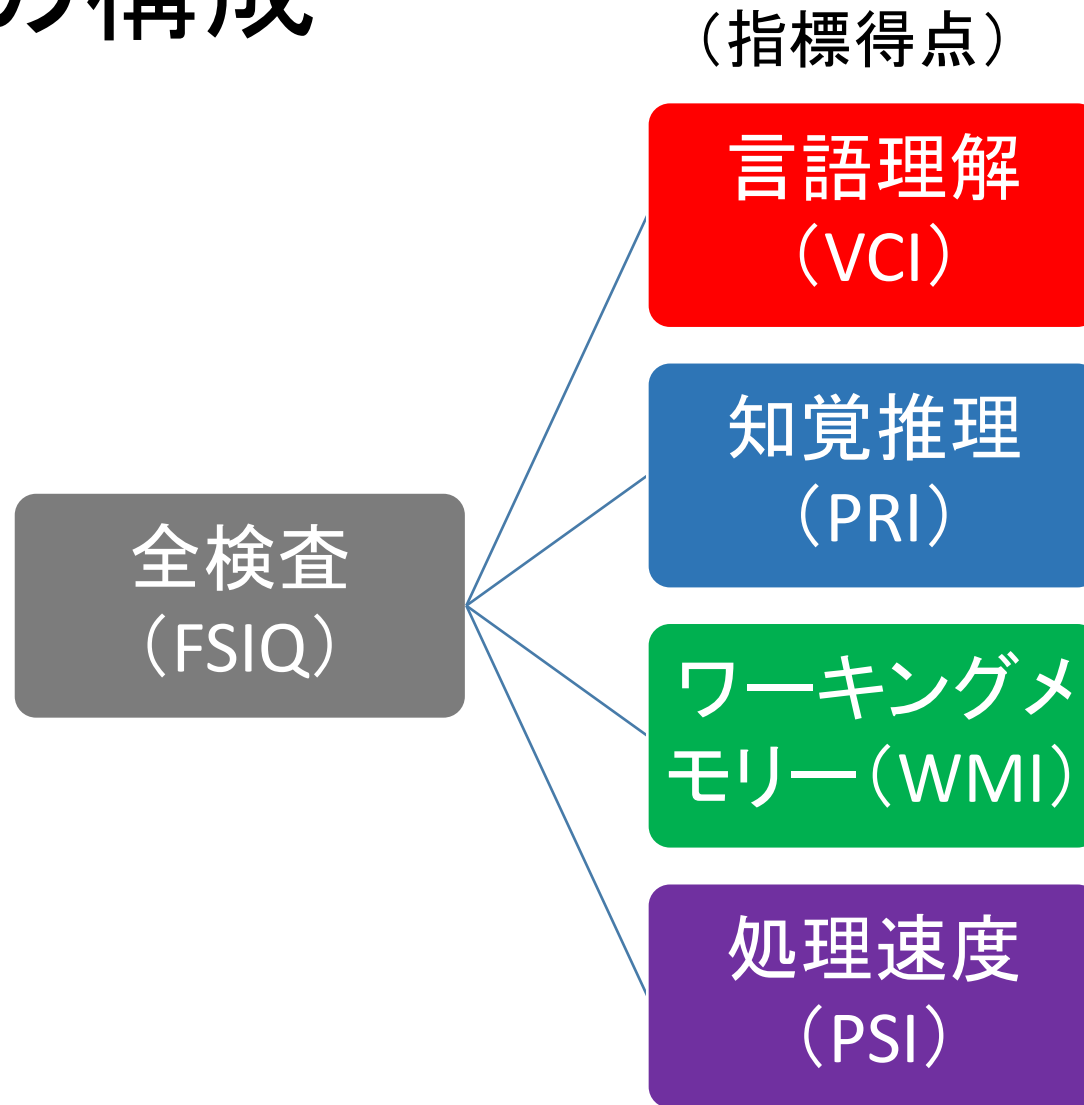
6
歳
級

	番号	正誤
6 歳 級	43	×
	44	×
	45	×
	46	×
	47	×
	48	×

WISC-IV (WAIS-IV) について

- WISC-IVの適用年齢は5歳～16歳11か月。それ以上はWAIS-IV (16歳～90歳11か月)を使用。
- 複数の下位検査から構成されており、子どもの知的発達の特徴を より多面的に把握 (**知的水準と認知の特性**が分かる)。
- IQ(偏差知能指数)の算出
$$\frac{\text{(個人得点 - 平均点)}}{\text{標準偏差}} \times 100$$

WISC-IVの構成



WISC-IV : 各指標で測定される主な能力

言語理解

- 言語の理解力・表現力(言語概念など)
- 言語による推理力・思考力
- 言語による習得知識

知覚推理

- 非言語による推理力・思考力
- 空間認知
- 視覚－運動協応

ワーキングメモリー

- 聴覚的ワーキングメモリー(作業中の一時的記憶保持)
- 注意、集中

処理速度

- 視覚刺激を速く正確に処理する力
- 注意、動機づけ
- 視覚的短期記憶
- 筆記技能・視覚－運動協応

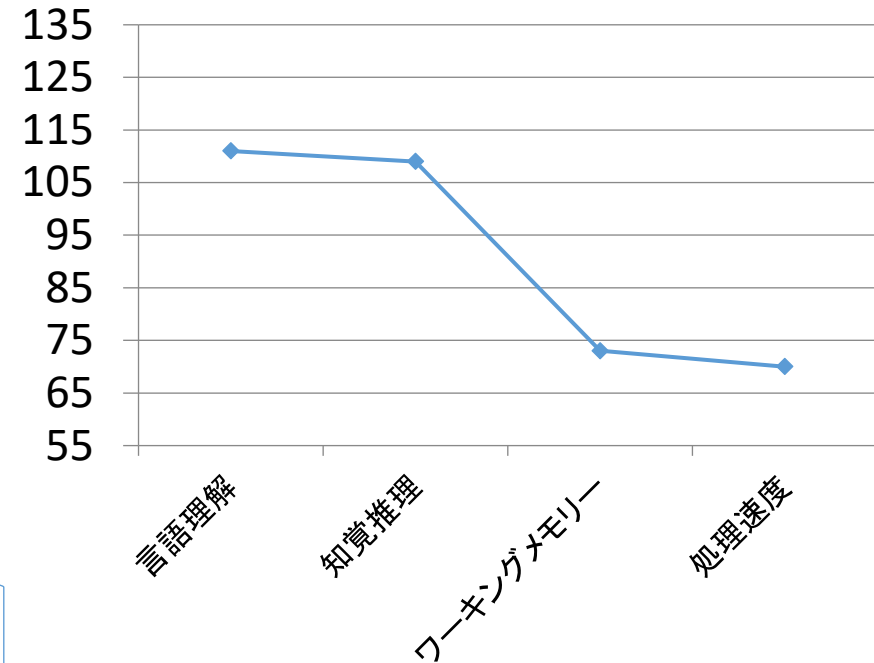
心理所見の例(田中ビネー)

2才級から6才級まで広範囲にわたって実施し、・・・得意なところと苦手なところの差は大きいようでした。

言葉の知識は年齢に比べ豊富で・・・物や言葉の概念もよく分かっています。・・・‘飛行機は速い、船は?’といった質問に対し、前後の関係を読み取るなど、言語を介して推理することは難しく・・・情報そのままに記憶にとどめておく力がありますが、耳からの情報へと注意集中することに弱さが見られ・・・情報を見て理解する力がありますが、情報の全体をイメージすることが困難なため・・・手先を細かく用いる作業、目と手を協応させながらの動作に苦手さが・・・

検査結果の例

	合成 得点	パーセ ンタイル 順位	信頼 区間 (90%)	記述分類
全検査 IQ(FSIQ)	92	30	87-98	平均の下一 平均
言語理解指 標(VCI)	111	77	103- 117	平均 — 平 均の上
知覚推理指 標(PRI)	109	73	101- 115	平均 — 平均 の上
ワーキングメモ リー指標 (WMI)	73	4	69-82	非常に低い — 平均の下
処理速度指 標(PSI)	70	2	66-82	非常に低い — 平均の下



• GAI(一般知的能力指標)

112

• CPI(認知熟達度指標)

69

S-M社会生活能力検査(第3版)

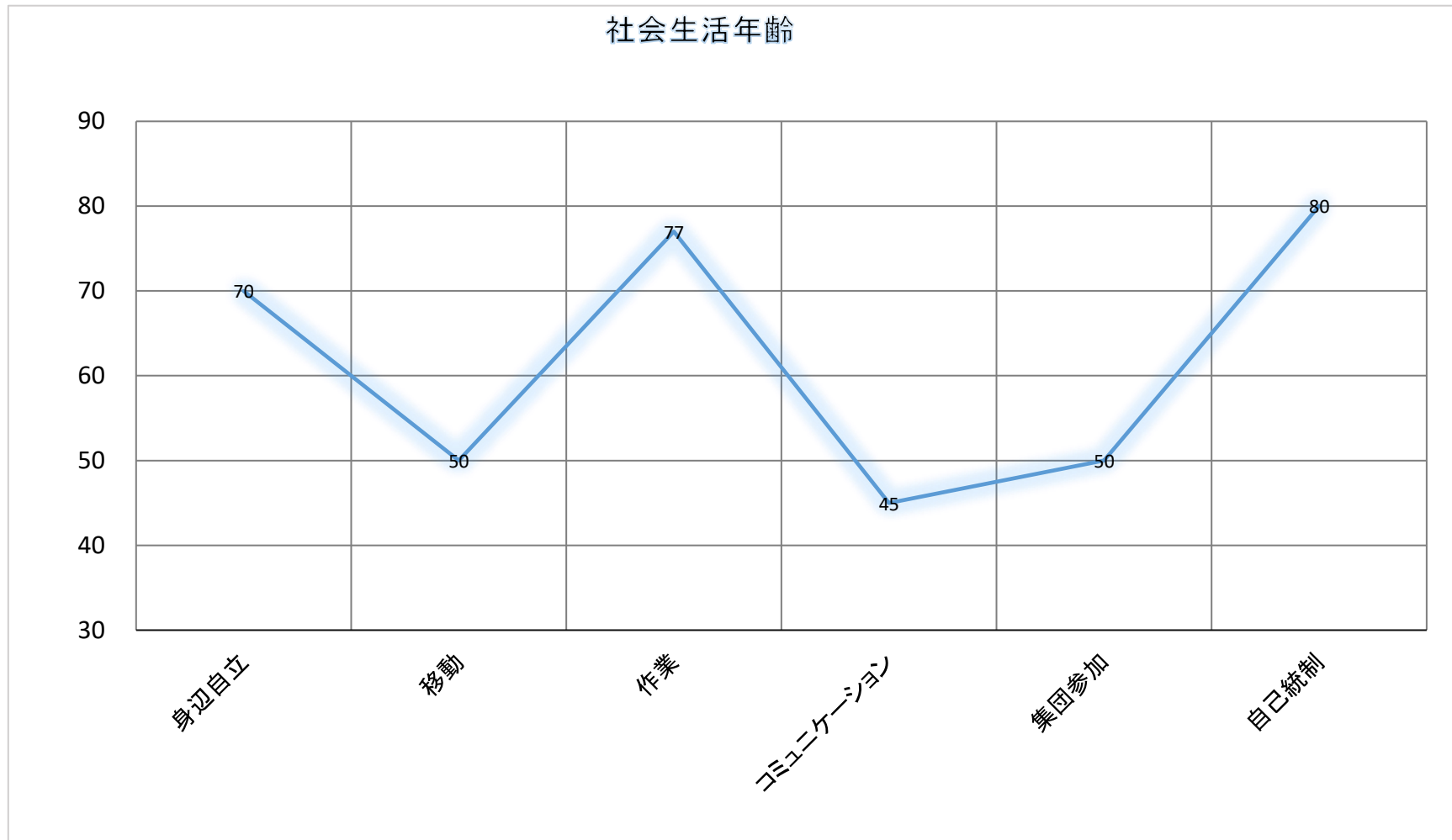
- 適用年齢: 乳幼児～13歳
(社会生活能力の遅れがある場合、13歳以上でも適用可)
- SA(社会生活年齢)や、SQ(社会生活指数)が算出される。

$$SQ = \frac{SA(\text{社会生活年齢})}{CA(\text{生活年齢})} \times 100$$

- 領域別社会生活年齢を算出
「身辺自立」「移動」「作業」「コミュニケーション」
「集団参加」「自己統制」



S-M社会生活能力検査(第3版)



検査結果を読む際の注意点

- 数値化のメリットとデメリット
 - IQをどう見るか 例) 79 と 82
 - 画一的な数値の解釈
- 能力のバラツキとその内容
 - その個人の中で部分的に「低い」ことが苦手感になる
- 検査場面での結果ということ

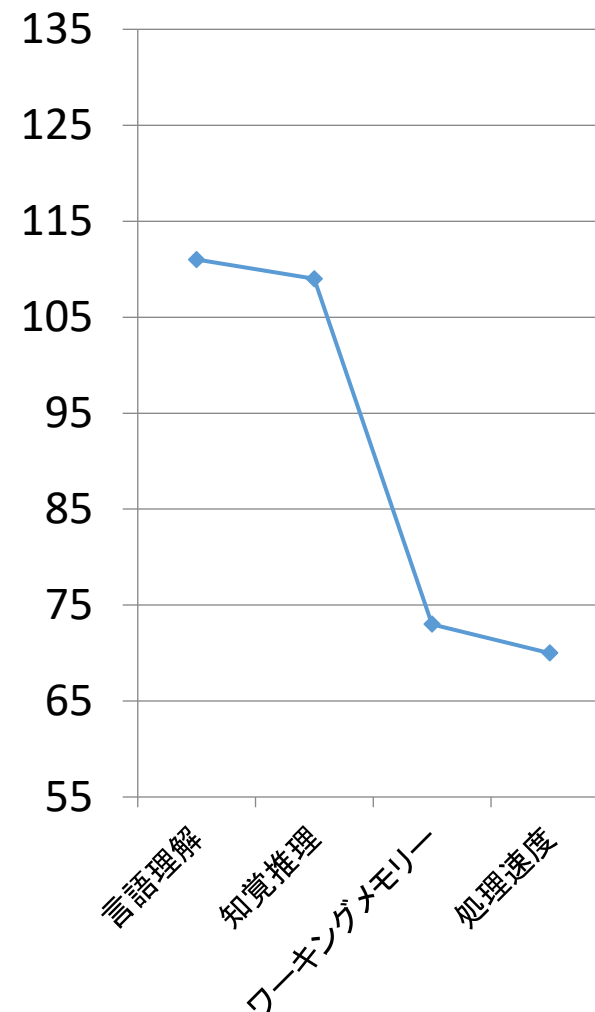
事例1

- 小3男児
- 主訴：授業に集中できない。文字を書くことが苦手。
- 実施した検査：WISC-IV、PARS-TR、ADHD-RS、STRAW

事例1: 検査結果

➤ WISC-IV

	合成 得点	パーセン タイル 順位	信頼 区間 (90%)	記述分類
全検査 IQ(FSIQ)	92	30	87-98	平均の下一 平均
言語理解指 標(VCI)	111	77	103- 117	平均 — 平 均の上
知覚推理指 標(PRI)	109	73	101- 115	平均 — 平均 の上
ワーキングメモリー 指標(WMI)	73	4	69-82	非常に低い — 平均の下
処理速度指 標(PSI)	70	2	66-82	非常に低い — 平均の下



事例1：検査結果

➤ PARS-TR

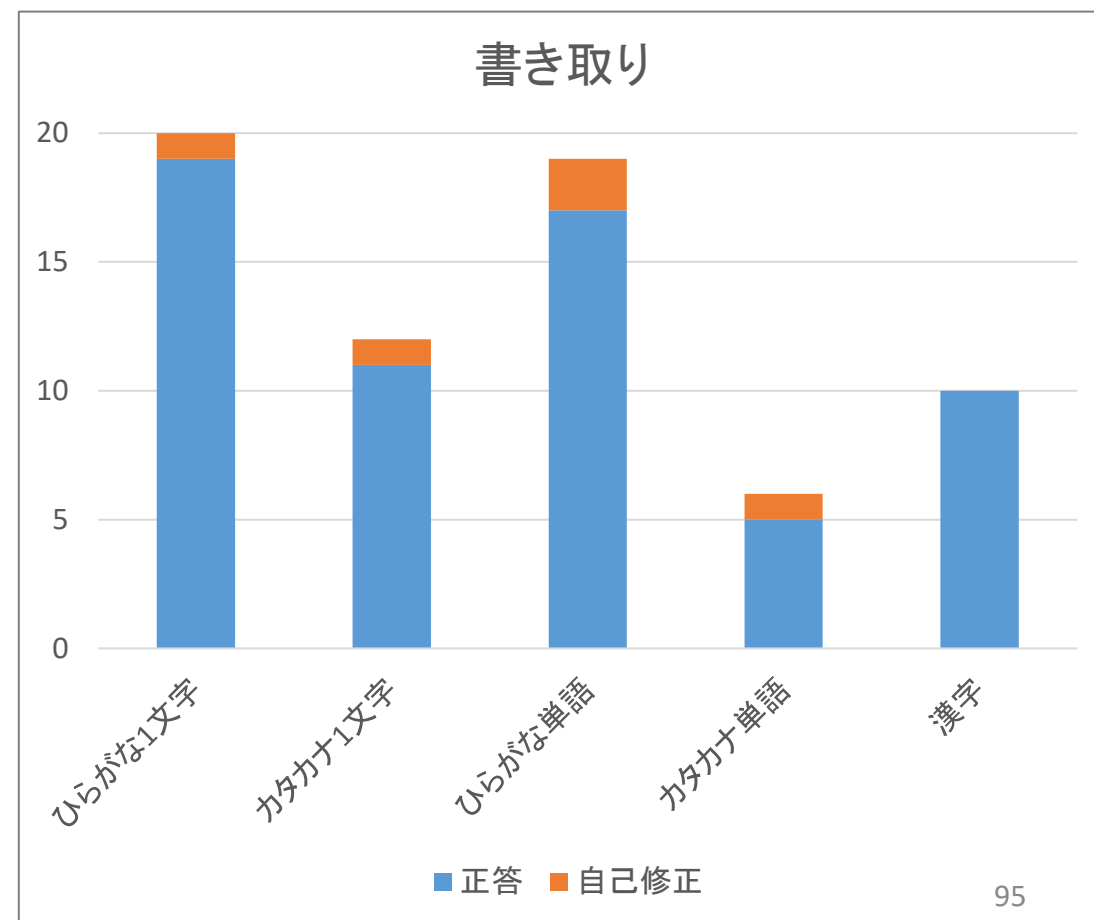
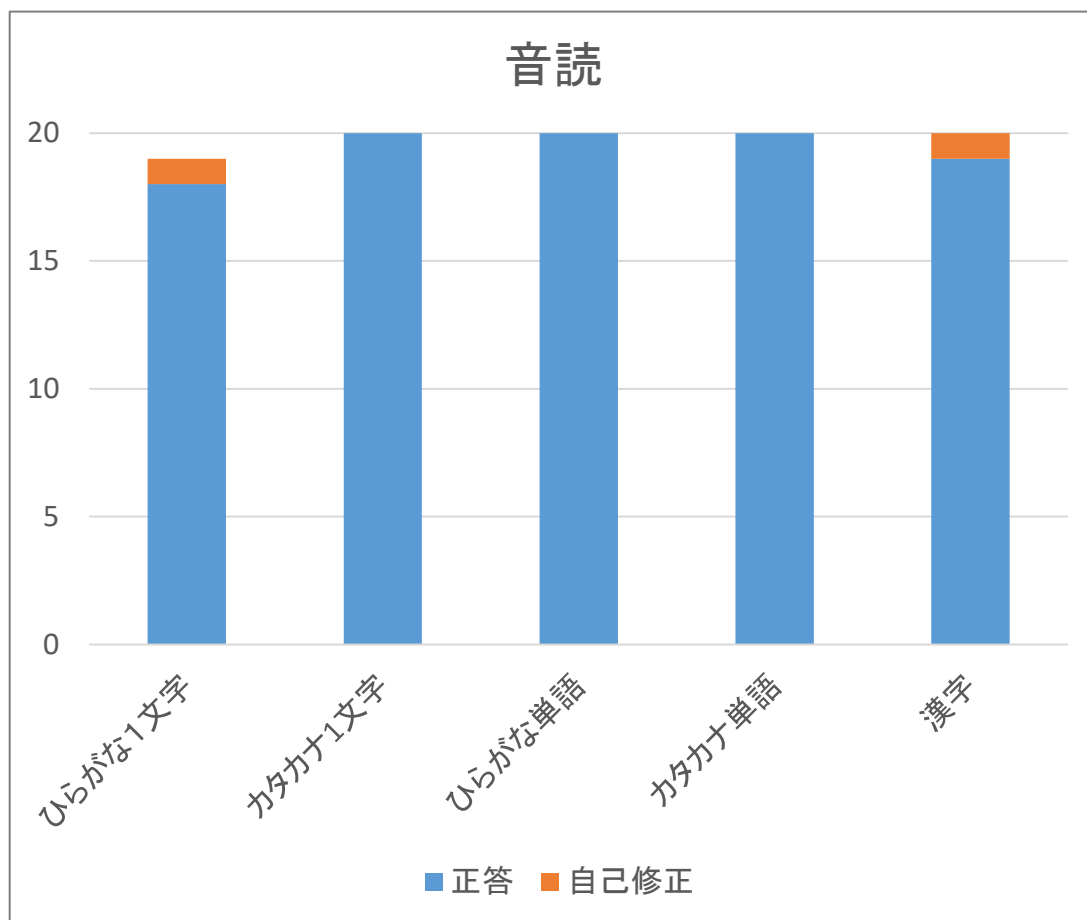
幼児期ピーク得点、児童期現在得点ともにASD示唆。

➤ ADHD-RS

不注意傾向が高い。苦手な作業には集中が続きにくい。

事例：検査結果

STRAW



事例：診断と対応

[診断]

- 診断名：ASD、ADHD、LD

[対応]

- 聞く力の弱さ(WMIの低さ) → 集中が低下しやすい
＝口答指示は入りにくく、理解できたとしても大きな労力を必要とする。
☆学習環境を整理(不要な刺激を取り除く)。手順や課題を箇条書きにするなど、視覚的な手がかりを提示。口答指示は、簡潔に、順を追って。
- 「文字を書くことが苦手」なのは、無意味図形を記憶することの苦手、視覚運動協応の弱さがあるため。
☆書字の負担を減らす。知識の取り入れが強く、部首の意味やその組み合わせに注目させる方法など。個別ではタブレット学習を取り入れるのも一つ。

支援を考える時には・・・

<対比的に見る>

- 言語理解 VS 視覚情報の理解
- 視覚認知 VS 視覚-運動の協応
- 具体的な視覚情報(イラストなど)
VS シンプルな視覚情報(図形、記号)
- 視覚入力 VS 聴覚入力
- 継次処理 VS 同時処理

など

まとめ

- 支援の基本は、お子さんの理解の仕方や興味に合わせた環境を作ることによって自立的な行動を促し、「分かる」「できる」経験を重ね、自尊心を高めていくこと。
- 検査結果は、発達アセスメントと子どもの強みを活かす支援のための手がかりの1つにすぎない。
- 周囲の共通理解と連携を取ることが重要。支援する側もまた、それぞれの強みを活かし、相互にサポートし合い、縦横に繋がりながら対応する。

<引用・参考文献>

- 本田秀夫監修(2015)自閉症スペクトラムがよくわかる本.講談社.
- 本田秀夫・日戸由刈監修(2016)自閉症スペクトラムの子のソーシャルを育てる本 幼児・小学生編.講談社.
- 発達障がいの子ものびのび暮らせる生活サポートブック 幼児編(2012)株式会社すばる舎
- 上林靖子監修、河内美恵ほか編著(2016)保育士・教師のためのティーチャーズ・トレーニング.中央法規.
- 小道モコ絵・文(2009)あたし研究1.クリエイツかもがわ.
- 黒田美保編著(2015)これからの発達障害のアセスメント.金子書房.
- Wechsler,D.著・日本版WISC-IV刊行委員会訳編(2010)日本版WISC-IV理論・解釈マニュアル.日本文化科学社.